

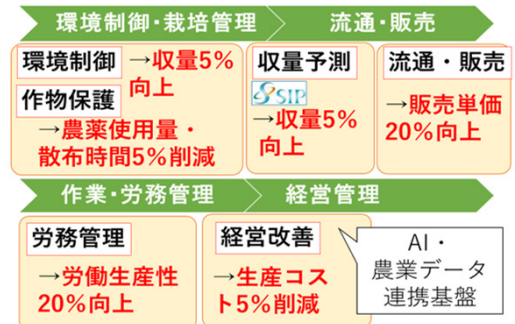
実証課題名：施設園芸コンテンツ連携によるトマトのスマート一貫体系の実証  
経営概要：1.93ha うち実証面積：0.85ha

## 導入技術

- ①改良版クラウドサービス②光合成量推定ソフト③収量予測ソフト
- ④病害虫発生予測⑤環境多点計測によるムラ改善⑥環境制御機器IoT化
- ⑦作業・安全管理記録⑧青果物流通⑨需要予測⑩経営分析・改善
- ⑪燃油残量可視化⑫AI解析

## 目標

収量の10%増加、秀品率の5%増加、販売単価の20%向上、  
労働時間の約10%削減及び生産コストの10%削減



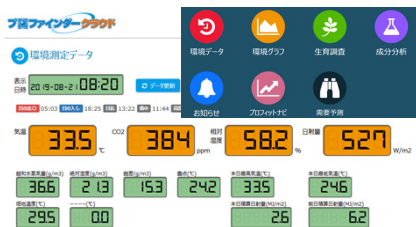
## 1 初年度の実証成果の概要

- 基準年2017年53t/10aに対し、2019年(事業初年度)は66t/10a (いずれの年も補光利用) となり、2017年比では20%以上増加した。
- 取り組み項目12項目のうち、8項目をクラウドコンテンツとして公開済みまたは近日公開予定。
- 公開見学会(108名)を開催。ミニ見学会、セミナーなど、1,700名以上に紹介、本実証の取り組み紹介動画を農研機構及び誠和HPで公開(5,000回以上アクセスあり)

## 2 導入技術の効果

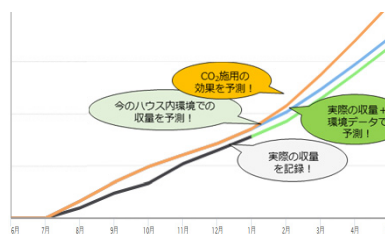
### クラウドサービス改良

- クラウドサービス 2018年8月公開  
2019年8月改良、2020年10月最新版公開予定



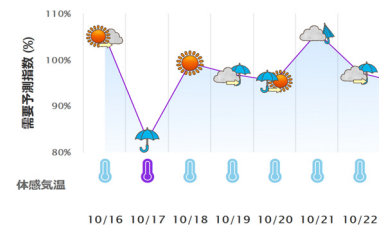
### 収量予測

- 収量予測 2019年9月公開  
2020年10月改良版限定公開予定



### 需要予測

- 気象が消費活動に与える影響を予測  
2019年12月公開

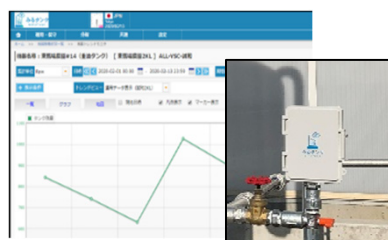


### 会計

- 会計ソフトとの連携  
2019年11月公開

### 燃油残量可視化

- タンク内の残油量がどこからでも容易に把握  
2020年10月中公開予定



### アウトリーチ

- 取り組みの紹介  
動画アクセス5,000回以上  
見学1,700名以上



紹介動画(日本語・英語字幕)

## 3 今後の課題・展望

- コンテンツ化が終了していない項目についても、実証を進め、コンテンツ化を図る。
- アウトリーチ活動として、動画作成(2本目)および成果報告会を計画する。

